

数字で見る  
「小さなエース」

# 広瀬けいすけ

緊急行財政改革特別委員会

「財政問題担当チーム」  
リーダー

市の作った「財政收支見通し」では将来の財政予測がきわめて甘いと判断。私のチームでは、より厳しい「議会独自の財政予測」を策定しました。議会が独自の財政シミュレーションを作成して、市に提言するのは全国でもほとんど例があります。市は、この特別委員会の提言にもとづき、その後、寝屋川市では「大幅な行財政改革」をすすめていくことになります。

30才  
市の西南地域への  
「救急車」の緊急配備

私が初当選後、寝屋川市内の救急車の配備状況を調査しました。その結果京阪電車の線路から東側の地域には合計3台の救急車が配置されているにもかかわらず、西側の地域には、1台の救急車だけ。市の東側の地域では「5分救急」が達成できているにもかかわらず、市の西側、特に西南地域を中心に10分以上かかるっているケースが少なくない現状が分かりました。その結果を示して議会で指摘した結果、西南地域にある神田出張所に、救急車が緊急配備されました。

33才  
議会  
座長(責任者)

当時は枚方・寝屋川・交野の3市合併の住民請求を目前に控えた重要な時期でしたので、議会

として、市町村合併のメリット・デメリットを研究しておく必要がありました。そこで私が、最年少にもかかわらず議会に設置された研究会の責任者に就任しました。私の大学院での専門の研究テーマのひとつが広域行政だつたからです。

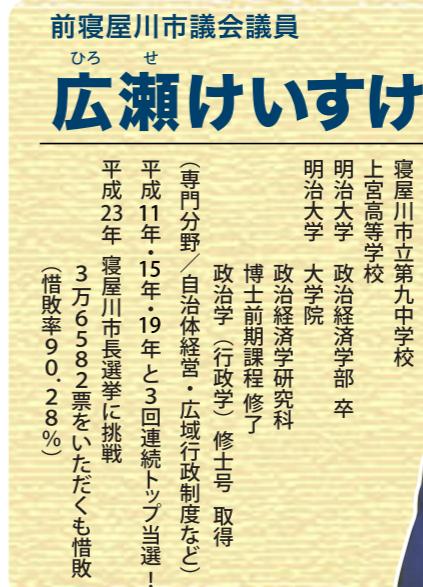
34才  
ほか  
市の「2つの別会社」の  
整理・解散

寝屋川市では、それまで他市と共同で「2つの別会社」をつくって水路や下水の管理を行っていました。しかし時代の変化とともにその役割を終えつた時期でした。その2つの別会社の「整理・解散」にあたり、当時それらの会社の議会側の責任者(議長)の職にあつた私が、寝屋川市の代表として清算手続きを進めました。

もっともっと厳しい目で、  
議員や政治家「個人」の仕事を  
見てください。

## 市政報告

近頃、世間を騒がせている議員や政治家に関わる様々な問題。  
いま、議員や政治家の質が低下しているとも言われています。  
大切なのは、どの政党か、マスコミを賑わせているか、ではなく、  
私たち議員や政治家「個人」が、どのくらい本気で活動し、また、  
どんな結果を残しているか、ではないでしょうか？



36才  
「日本一高い」といわれた  
国民健康保険の立て直し

市内の医師会、歯科医師会、薬剤師会などの代表などで構成され、寝屋川市の国民健康保険料の金額などを決める国民健康保険運営協議会の会長として国民健康の健全化を担当しました。特に、実質的には「日本初」となるジェネリック医薬品の積極活用により薬剤費の引き下げを目指すという私の提言は年間数億円の財政効果を生むことになり、立て直しに大きく貢献しました。この手法については、厚生労働省や会計検査院の官僚の勉強会に私が講師として招かれ講演させていただきました。

38才  
「政務調査費」  
支出し基準見直しチーム  
座長(責任者)

市議会の各会派代表者による会議の座長として、多くの議員からの反対・慎重意見を抑えて、寝屋川市議会の政務調査費の支出基準を当時全国的にも極めて厳しいレベルに変更しました。この厳格化により、ベテラン議員の中には、自主的に政務調査費を返納する議員が出ることになりました。

- 1円からの領収証の添付と公開を義務化。
- 領収証を取りれない電車の切符などの支出
- 郵送物の添付や切手など購入の場合でも、郵送物の添付やレポートの義務化。
- それらすべての市民への公開を義務化。
- ですから、寝屋川市議会では兵庫県議のようないくつかの問題は起こりません。「号泣眞議」の兵庫県議会は10年以上遅れています。

広瀬けいすけ事務所

〒572-0047 寝屋川市大利元町10-11

TEL・FAX 072-839-0001

メール hirose@777.plala.or.jp

URL http://hirose-keisuke.com

ひろせ  
**広瀬けいすけの一言**